

2010年度

科目名	英語科授業研究		
担当教員	溝口 健司		
配当	教福3	コード	13510
開期	通年	講時	月曜日3限
		単位数	4
授業テーマ	中学校・高校での英語の授業を充実させる知識・スキルを獲得する。		
目的と概要	中学校・高校における充実した英語の授業を実現するために教員に求められる知識・スキルの獲得、またさまざまな授業状況に臨機応変に対応できるための工夫を創出できる能力を養う。特に、生徒からの多様な質問に適切に対応できる能力を養うことに重点を置く。		
成績評価法	数回の発表(50%)、質疑応答の質・量、レポート(50%)により評価する。		
テキスト	使用しない。		
参考書	必要に応じて紹介する。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 日本の英語教育の問題点</li> <li>3. 学習指導要領</li> <li>4. 英語学習者</li> <li>5. 英語教員：必要な知識</li> <li>6. 英語教員：参考書の活用法</li> <li>7. 英語教員：授業の準備と質問対応</li> <li>8. 英語指導の原理：直読直解</li> <li>9. 第一言語習得と第二言語習得</li> <li>10. 音韻：発音と発音記号</li> <li>11. 音韻：強勢・リズム・イントネーション</li> <li>12. 文法的知識の活用</li> <li>13. 語法的知識：コロケーション</li> <li>14. コミュニケーション能力</li> <li>15. 英語表現の理解：リスニング</li> <li>16. 英語表現の理解：リーディング</li> <li>17. 英語表現の発信：スピーキング</li> <li>18. 英語表現の発信：ライティング</li> <li>19. 語彙の指導方法</li> <li>20. 語彙の指導の実際：形態素の習得と活用</li> <li>21. 辞書の活用方法</li> <li>22. 辞書活用の際</li> <li>23. インターネットの活用法</li> <li>24. インターネット活用の際</li> <li>25. ティーム・ティーチング</li> <li>26. テスト形式と評価</li> <li>27. テスト作成の際</li> <li>28. 教育機器の活用：視聴覚教材とマルチメディア</li> <li>29. 教科書と副教材</li> <li>30. 教育実習</li> </ol>			